

2025年
令和7年2月 No. **184**

令和6年12月定例会	…2
予算特別委員会(補正)	…3
総務常任委員会・産業建設常任委員会	…4
町政を問う(9人が一般質問)	…5
議会改革特別委員会(意見交換会)	…10
議会改革特別委員会(視察研修)	…12
議会広報常任委員会	…13
多賀町議会議員の活動報告	…14
もっと知りたい! 調べて! 議員さん!	…16

こんにちは 議会です!!



表紙写真:令和6年10月20日に実施された「滋賀県総合防災訓練」のようす。(▶P.14参照)

令和6年12月定例会 12月3日～19日

12月定例会は、同意2件、議案4件と追加議案6件を審議

同意

①多賀町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
竹内 幸雄(再任)

②多賀町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
前田 拓馬(再任)

議案

①令和6年度多賀町一般会計補正予算(第6号)について **可決**
[債務負担行為の補正]

予算特別委員会に付託▶P3参照

内容：多賀スマートインターチェンジ(上り線)工事負担金2年間で6億9500万円の範囲内で負担

②令和6年度多賀町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について **可決**

内容：介護サービスなど受給者増加に伴う

③令和6年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について **可決**

内容：多賀町後期高齢者医療広域連合納付金の増加に伴う

④令和6年度多賀町下水道事業会計補正予算(第2号)について **可決**

内容：真空弁が故障した場合に伴う修繕費の補正

追加議案

①多賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について **可決**

②多賀町特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について **可決**

③令和6年度多賀町一般会計補正予算(第7号)について **可決**

④令和6年度多賀町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について **可決**

⑤令和6年度多賀町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)について **可決**

⑥令和6年度多賀町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について **可決**

①から⑥まで
理由：人事院勧告による改正

令和6年第2回臨時会 10月9日

臨時会は、承認1件、議案1件を審議

承認

①専決処分事項の承認を求めることについて(令和6年度多賀町一般会計補正予算(第5号))

内容：10月27日執行の衆議院議員総選挙費総額1032万円



議案

①多賀町消防団可搬式消防ポンプ付積載車の購入契約の締結について **可決**

内容：条件付き……一般競争入札
多賀町消防団
第一分団第3班(久徳)
総額 1067万円
落札者 ㈱奥山ポンプ商会
令和7年3月までに納入

質疑：川岸議員
問：条件付き一般入札であるが入札参加業者が少ないと競争入札にならないのではないかと。
答：他市町村で納入された実績のある業者という条件で入札となり2社が応札している。

討論なし

予算特別委員会(補正) 12月6日

令和6年度多賀町一般会計補正予算(第6号)について

歳入歳出の総額に、それぞれ2億970万円を追加し、60億4037万円とする。

主な予算項目

項目	金額
総務費	2688万円
民生費	4998万円
衛生費	108万円
土木費	-2594万円
教育費	1586万円
公債費	1億2884万円
諸支出金	1300万円

主な内容(抜粋)

総務費	
ふるさと納税	1300万円
町制70周年事業準備費	68万円

民生費	
障害者自立支援費	3935万円
障害児通所給付費等	300万円



衛生費	
システム改修委託料	-65万円
日本脳炎予防接種委託料	-72万円
子宮頸がん予防ワクチン委託料	275万円
ロタウイルスワクチン委託料	-30万円

土木費	
橋梁総点検業務委託料	-2255万円
工事請負費	-339万円

教育費	
備品購入費	180万円
公用車購入費*	1026万円
給食賄材料費	436万円

*公用車(スクールバス)納車は契約半年後

公債費	
公債費繰上償還	1億2884万円

諸支出金	
まちづくり基金積立金	1300万円

債務負担行為補正	
令和7年度にSIC上り線工事負担金 飛球対策他	6億9500万円



総務常任委員会・産業建設常任委員会 10月2日

閉会中の総務・産業建設常任委員会調査結果報告

本町全議員と教育長ならびに議会事務局2人、三朝町から議長、教育長、福祉課長、地域振興監、企画健康課参事、議会事務局2人の出席のもと、両常任委員会の合同視察研修を実施した。

総務常任委員会

三朝町教育の未来構想と現状について

問：総事業費約30億5千万円、どの程度交付税措置があるのか。

答：過疎対策事業債で7割の交付税措置、町負担3割。

問：将来的には小中一貫校を目指しているのか。



三朝小学校(新校舎)

答：ふるさとキャリア教育として9年間で英語・情報教育をデザインしている。国の政策を見ながら研究し、小中連携または小中一貫を見きわめていきたい。

買い物弱者への支援について

問：ショッピングデイサービスの利用者数と利用者の感想は

答：ショッピングデイサービスは令和3年度開始で今年4年目。令和5年度は、3集落で延べ333人が参加し、運動を通じた介護予防と買い物支援の場となっている。利用者の感想は、「人との繋がりができた」「やや満足・満

足」との回答が多かった。

問：ショッピングデイサービスの運営体制は。介護資格保有者の有無や人材確保の課題は。

答：本事業は三朝町社会福祉協議会が「生活支援コーディネーター活動」として運営。生活支援コーディネーター1人と運転手1人が担当している。



ショッピングデイサービス

産業建設常任委員会

公共交通「みささサンサンバス」について

三朝町での路線バスの見直しによる町営バスの運行、経緯と現在の状況説明。



公共交通「みささサンサンバス」

問：高校生へのバスの補助は。

答：町外への通学は県の費用負担への補助制度があるため、通学生徒に差が出ないよう町補助で調整。

移住定住促進「移住お試し住宅整備事業」について

この空き家や跡地の活用も含め移住定住の促進に結びつくために三朝町の取り組み説明。

問：貸し借りするにあたって修繕が必要な場合リフォームの補助はあるのか。

答：町独自ではなく、県の空き家利活用のための改修に関して90万円の補助制度。家財処分に関する費用助成については20万円を町で対応。

移住お試し住宅整備事業



町政を問う。

12月定例会では9人が一般質問をおこないました

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などの方針を問うもの。ぜひ議会の傍聴にお越しください。

質問事項ページ

大谷 重温……6

- ◎空き家を活用した絵馬通りの活性化について
- ◎学校給食費の無償化について

神細工宗宏……6

- ◎新たな除雪体制について

近藤 勇……7

- ◎高齢者が気軽に買い物できるための(買い物弱者)取組みについて

川岸 真喜……7

- ◎災害時の避難と備えについて

一之瀬浩治……8

- ◎獣害対策の対応について

小島 櫻……8

- ◎多賀町の体育施設の利用について
- ◎地域おこし協力隊について

山口 久男……9

- ◎現行の保険証の新規発行の停止、マイナ保険証に一本化されることへの影響について
- ◎ごみ問題と環境について
- ◎教育費の負担軽減措置について
- ◎橋梁の点検補修について

富永 勉……9

- ◎水害対策について

木下 茂樹……10

- ◎町産米の銘柄選択は

(注)紙面の都合上○印の内容は掲載しておりませんが、一般質問の全内容は多賀町議会のホームページで公開しています。



空き家を利用した絵馬通りの活性化について

観光を根幹とする店舗で誘客を図り観光面での地域おこし協力隊の委嘱を考える

おおたに しげはる
大谷 重温



昭和30年代～40年代、朝の近江鉄道多賀駅前2両編成の電車は、通勤、通学の人々で溢れていた。

駅前からの商店街で、必要な物は、すべて整っていた。時が過ぎ、車社会に変わり、買い物は彦根の大型スーパーですようになり、多賀の商店街は、以前の活気が失われた。

平成27年～令和2年にかけての道路改修工事により、大変素敵な街並みになったが、今現在空き家が11軒、80才以上の独居老人家屋が6軒、70代80代の2人暮らしの家が12軒で、このまま後継者がいないと、10年後には空き家だらけの街並みになっていく。そこで町の賑わいを取り戻すために2点問う。

問① 絵馬通りは多賀大社の参道になっており、空き家をリノベーションして、成功している店舗がいくつか有るが、さらに発展させるため「多賀町がんばる商店応援補助金」などの補助金制度を積極的にPRするなど、多賀町から県内外を問わず広域に誘致活動ができないか。

問② 現在、地域おこし協力隊が4人おり、大滝地区を中心とした山間部で活動しているが、多賀区などの平野部にも派遣して、絵馬通りを中心とした地域活性化に貢献していただけないか。

産業環境課長

答① 多賀町がんばる商店応援補助金制度は、平成24年度より施行し、絵馬通り沿線では「新規開業等」が7軒、「店のしつらい魅力向上などの改修」が9軒、合わせて16軒有る。しかしながら、空き家が利活用されていないのが現状。

答② 絵馬通りの活性化事業は、ハード面の整備を終えて、ソフト事業への移行と考え、既存店舗の持続や誘客を図り賑わいの仕組み作りと考えている。

「多賀観光協会」「絵馬通りの活性化を考える会」のご意見も伺いつつ、観光と商業を繋げる展開に着眼し、観光面での地域おこし協力隊の委嘱に強く関心を持っている。

空き家をリノベーションした店舗

空き家をリノベーションした店舗



新たな除雪体制について

「第3期多賀町地域福祉計画」で取り組む

かみざい くむねひろ
神細工宗宏



私は山間地域の活性化での空き家の問題等にも力を入れているが、山間地域の除雪体制にも対応が必要だと考えている。

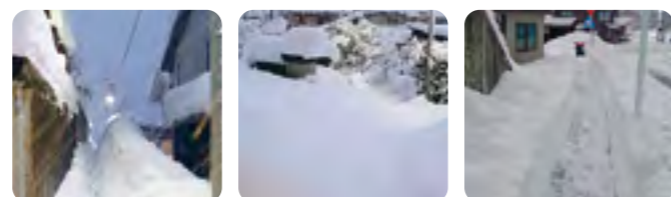
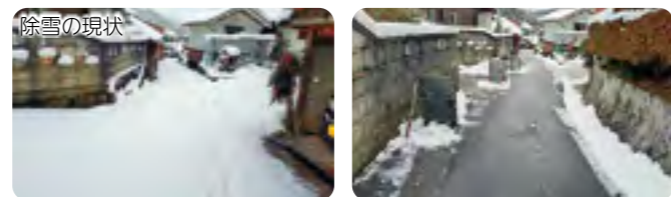
令和6年2月定例会では、高齢者世帯や高齢者独居世帯が増えている現状での、里道や高齢者世帯の門口までの除雪につき、高齢者福祉の考えのなかで、助け合いや見守りの観点から「新たな除雪体制」について、地域整備課長ならびに福祉保健課長から答弁をいただいている。

問① 「新たな除雪体制」について地域整備課・福祉保健課・社会福祉協議会などの垣根を超えた議論はしていただけないか。

福祉保健課長

答① 福祉保健関係団体の代表者や、社会福祉協議会、関係機関等により構成される策定委員会にて協議し令和6年3月に策定した「第3期多賀町地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）」のなかでは、「冬場の除雪対策について」は、高齢者や障がいがある人など自力で除雪ができない方に対し、困りごと支援サービスの活用も含めた住民参加型の除雪体制の構築と活用を進めていく方針。

地域整備課および社会福祉協議会とは情報を共有し、定期的な連絡会等のなかで協議をしているが、残念ながら、地域整備課や関係各課との議論には至っていないが、検討する必要があると考えている。



多賀町川相

高齢者が気軽に買い物できるための買い物弱者取組みについて

買い物支援事業の実施の検討をはじめ

こんどう いさむ
近藤 勇



多賀町では、昔は各集落や今の絵馬通りには、小さな店舗があり、地域の人々が安心して生活を送れる環境があった。時代の流れ、利便性から大きな商業施設での買い物が選ばれる時代となり、多くの店が止むなく閉店されている。本町の高齢化率は33.53%で、高齢者の自動車運転免許返納者も平成30年～令和4年度の5年間で177人、軽度認定者は約150人いる。近隣の市町まで買い物に行けない方の中には、生活協同組合等、利用される方もおられる。買い物の利便性に残り残される方が増えるのではと心配でならない。大滝地区では、地域おこし協力隊が大型スーパーへの送迎を実施されている。長浜市では、4月から公共交通機関を利用するの買い物が困難な高齢者のために、軽トラックでの移動販売を定められた停留所でおこなう制度を実行される協定がなされた。そこで、多賀大社前駅での「もんぜん市」の発展、福祉施策としての買い物支援の仕組み作りの施策展開ができないのか、次の2点について問う。

問① 他市において実施している、買い物弱者（免許返納者、要支援認定者）に対する買い物支援サービスの拡充の取組みを検討できないか。

問② 取組みが実施できれば、福祉保健課、社会福祉協議会、民生委員等々による見守り活動などが充実するのではないか。

福祉保健課長

答① 長浜市での移動店舗の取組みの状況などを踏まえ、福祉保健課では、新たに福祉施策として買い物支援事業の実施の事業の検討を始めている。事業内容は買い物支援が必要な高齢者に事前登録していただき、町が指定した店舗まで、デイサービスの送迎車の空き時間を利用して移送サービスを提供する。事業実施に向けて想定される課題等を検討している。

答② 現在、独り暮らしの高齢者等の見守りについては地域包括支援センター、社会福祉協議会の職員、地域においては、民生委員、福祉推進員、日赤奉仕団、老人クラブなどで実施している。買い物支援サービスの充実により、高齢者の買い物の様子も把握できるため見守り活動の充実につながると思う。



災害時の避難と備えについて

「自分の命は自分で守る」という観点で周知啓発

かわざし まさき
川岸 真喜



近年の地震被害や風水害をたどってみると、多くの人命や家屋被害が出ている。また、年齢に関係なく逃げ遅れによる被害も生じているため、多賀町の今後の防災計画について問う。

問① 二次避難とは、一次避難所の被災者が、環境の整った宿泊施設に避難することを意味する。平時において近隣市町と二次避難についての協定を結ぶ必要があると考えるが、今後の取り組みは。

問② 大岡の備蓄倉庫に集中備蓄するよりも、孤立するおそれのある拠点避難所には、長期滞在を想定した物資を配置すべきではないか。分散備蓄の考えは。

問③ 一次避難所の看板設置は必要と考えるが、どうか。

総務課長

答① 二次避難については、より明確に示しておく必要があると考え、新たな地域防災計画において、明確に位置付け、協定の締結も、前向きに進めたいと考えている。

答② 町としても拠点避難所ごとに備蓄、備品について分散配置したいと考えているが、保管スペースの課題もあり、災害時の優先度を踏まえて配置しているが、可能な限り分散できるよう、随時見直しをしながら取り組みたいと考えている。

答③ 一次避難所については、より身近に住民の皆さんに知ってもらうことが大切であり、関係者の皆さんの

ご意見も聞き、看板設置について考えている。



多賀町防災備蓄倉庫



獣害対策の対応について 地域の実情に応じた 有害捕獲の体制づくり

いちのせこうじ
一之瀬浩治



サルによる農作物への被害、屋根を歩き回り家屋を損壊させる、時には人を威嚇しケガをさせるなど、わが物顔で快々としている姿に腹立たしい感を持っているのは私だけではないと思う。

町行政において、長年、恒久電気柵の維持管理・小規模農地での獣害柵の設置への支援などをおこなっているが、住民の方に知っていただくために、改めて現状と今後の対策について次の点について問う。

問①サルが生息調査にもとづく群数および個体数の増減は。

問②現行の行政支援としての恒久電気柵の維持管理・小規模農地での獣害柵の設置の支援内容、および実績は。

問③今後の対策として、個体数調整の方向性、補助金制度の見直しの考えは。

産業環境課長

答①生息調査では、多賀町内に13の群れがあり、総数で約510頭、毎年、有害捕獲として20頭から30頭を捕獲しているが増加傾向。

答②恒久電気柵の維持管理では、集落獣害自営組織育成補助金として17組織に、1団体当たり定額の15万円と恒久電気柵1メートルあたり60円に延長を乗じた額。小規模農地の獣害柵設置では、小規模農地獣害対策補助金として、65歳以上の方がおられる世帯については補助率3分の2、上限額8万円の補助、過去3か年で41件の実績。そのほかの場合は、補助率3分の2、上限額4万円の補助、過去3か年で3件の実績。

答③今後の対策として、新たにユニット単位、群単位での管理計画を定め、地域の実情に応じた有害捕獲の体制づくりに努める。

獣害対策のイメージ



多賀町の体育施設の利用について 利便性向上に努めていく

こじま さくら
小島 櫻



多賀町の体育施設が健康維持やコミュニティづくりの場として利用が増えるなか、夜間や土日の混雑により、一般利用者が使いにくい状況にある。また、地域団体の優先予約や使用料が減免されるといった措置があるため、一般利用者との利用格差を生んでいるとの指摘もあり、以下2点について問う。

問①このような措置を受けている地域団体の利用方法を見直し、一般利用枠を拡充することは可能か。

問②一般利用者の利便性向上のため、利用時間の拡大や改善の検討は。

生涯学習課長

答①体育施設は利用が増加しており、混雑の一因として地域団体の優先的な措置があること、勤労者体育センターの利用を取りやめたことなどが考えられる。このため、地域団体には学校体育施設への移行を促し、一般利用枠の拡大に努めているところ。また、「多賀町生涯スポーツのあり方検討委員会」を開催し、この問題をはじめ当町のスポーツに関する現状を取り上げ、さまざまな問題解決に向けて準備を進めていきたい。

答②利用時間の細分化だけではなく、利用開始時間と終了時間の拡充も含めて各施設において総合的に見直しをおこなう必要があると考える。ただし、指定管



多賀B&G海洋センターの屋内多目的運動場



理者や条例の調整が必要。今後も利用者目線を大切に、地域団体や一般利用者双方の利便性向上に努めていきたい。

現行の保険証の新規発行の停止、マイナ保険証に一本化されることへの影響について

住民が混乱なく安心して
保険医療を受けて
いただける十分な対策
山口 久男



12月2日から現行の保険証(紙、カード)の新規発行が停止され、マイナンバーカードに保険証を紐付けた「マイナ保険証」への移行が推し進められている。一方で、「他人の情報が表示される」などマイナ保険証をめぐるトラブルが発生している。今年5月以降だけでも約7割の医療機関でトラブルが発生したとの調査結果が出ており、医療機関や利用者からも不安の声が上がっている。マイナ保険証の利用率はいまだに13.87%。現行保険証の存続を求める立場から以下の点について問う。

問①マイナンバーカードの申請状況は。

問②国民健康保険、後期高齢者医療保険のマイナンバーカードの紐付け状況は。

問③健康保険証を使わない場合の対応についてどのように周知しているか。

問④マイナ保険証が使えない場合の対応は。

問⑤現行の保険証と資格確認書の有効期限は。

問⑥令和6年12月1日発行の現行の被保険者証の有効期限はいつまでか。

問⑦国に現行の保険証の存続を求めることについての見解は。

税務住民課長

答①令和6年11月末時点で82.5%の方がマイナンバーカードを所有。

答②国民健康保険は、令和6年10月末時点で71.74%。後期高齢者医療は、令和6年9月末時点で69.32%の方が紐付け。

答③健康保険証を郵送する際に、有効期限が令和7年7月31日までであること、健康保険証とマイナンバーカードの一本化により、令和6年12月2日から健康保険証は新規発行されなくなるなどについて周知するチラシを送付。

答④マイナンバーカードをお持ちでない方、マイナンバーカードと健康保険証を紐付けされていない方にお渡しする資格確認書を交付された方は、健康保険証と同様に提示いただくことで、医療機関などを受診することができる。

答⑤健康保険証と資格確認書どちらも令和7年7月31日まで。

答⑥有効期限は令和7年7月31日まで。

答⑦国の動きを注視しつつ被保険者の方々が適正に保険医療を受けていただけるよう対応。

水害対策について 県と連携し、 適切な管理を要望

とみなが つとむ
富永 勉



近年の異常気象による豪雨災害では甚大な被害が発生しており、多賀町でも対策が急務と考える。犬上川や芹川の支障木や竹の伐採が河川機能の維持に不可欠であるため、伐採計画とその進捗状況について問う。

問①河川内の支障木などの伐採計画は。

問②伐採計画にもとづく進捗率は。

地域整備課長

答①犬上川や芹川をはじめとする一級河川の土砂堆積や竹木の繁茂について、多賀町は県に適切な維持管理を要望している。湖東土木事務所によれば、伐採計画は存在せず、巡視点検や地元の要望を基に優先順位を決めて対応しているとのこと。

答②進捗率については計画がないため数値化はできない。町としては、引き続き県と連携し、適切な河川管理を要望し、安全・安心な暮らしを守る。



町産米の銘柄選択は 品種選定は さまざまな要因がある

きのした しげき
木下 茂樹



今年夏の米不足から、町民の食料を確保していく上でも米作りは重要である。学校給食米では、安心・安全な町産のコシヒカリで、ふるさと納税での返礼品にも米は使われ町産米の需要は大きい。県が開発した秋の詩、みずかがみ、きらみずき。美味しいと評判の高い、にこまるやミルククイーン、きぬむすめ、キヌヒカリなど本町産ブランドの育成には農家・生産者の協力のもと、重要な施策にも繋がる。品種の絞り込みで、本町産ブランド化が促進されるのではないかと問う。

問① 品種を絞ったブランド化の方向性は。

問② 県やJAとの協議はあるのか。

問③ 学校給食、ふるさと納税返礼米の銘柄変更は。

産業環境課長

答① 近年の高温障害は、米の品質に大きな影響が出て、県では暑さに強い品種として、みずかがみ、きらみずきを開発し、推奨している。

著名な米の指導者から、本町の気候、風土に適した「にこまる」にも取り組んでおり、生産者は経験・技術・需要・生産コストから、品種選定されている。

答② 滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課、JA東びわこ、近畿農政局滋賀県拠点、多賀町農政係の合同で、定期的に会議を開催している。

教育総務課長

答③ 地産地消の農業振興の観点から、町産のコシヒカリを使用しているが、産業環境課のブランド化事業で取り扱う品種「にこまる」を提供した実績もある。

総務課長

答③ ふるさと納税の銘柄米は、本町のPR上「キヌヒカリ、コシヒカリ、みずかがみ、ミルククイーン」で、安定的な提供数が確保、発送の体制ができていものを選定しているが銘柄変更は考えていない。

町産米の銘柄の一部



ふるさと納税での返礼品にも使用



議会改革特別委員会
10月25日

多賀町議会と多賀町商工会との 意見交換会を開催

① 地域振興事業(町内イベント)への 多賀町商工会のかかり方について

これからは地域振興事業よりも、事業者支援に重点を置く計画である。ただし、イベント事業に完全に関与しないわけではなく、今年度も「多賀ふるさと楽市」のステージ設営は多賀町商工会が担当した。

「多賀ふるさと楽市」の開催日については、多賀ふるさと楽市実行委員会での協議事項だが、多賀町商工会としては従来の第3日曜日開催を含め、今後の方向性について引き続き検討していく必要があると考えている。



出店の様子



② 街路灯の運営について

県内の多くの商工会では、企業のPRを目的に国や県の補助金を活用し、各地で街路灯建設事業に取り組んできた。街路灯の耐用年数は30年とされており、多賀町でも安全とされる期間は残り5年となった。運営に対する基金は約3000万円あるが、既存の465基すべてを建替える場合、1億円を超える費用が見込まれる。街路灯



多賀町内の街路灯

は地域の防犯に不可欠な設備であり、撤去という選択肢は現実的ではないと考えるので、今後の運営について、行政を交えた早期の協議が必要であると考えている。



③ 地域産業の継承について

現在、243人の会員で多賀町商工会が組織されているが、今後は廃業などによる会員数の減少が予想されている。多賀町においては、人口減少や空き家対策が重要課題とされており、地域経済の活性化に向け、魅力ある産業の創出を通じた人口流出防止への取り組みが求められている。特に、若年層のスタートアップ支援に注力し、町内で創業を希望する方々への支援体制の充実を図りたい。これらの実現に向け、多賀町商工会と行政が連携し、一丸となって支援体制を構築することが重要であると考えている。

空き家をリノベーションした店舗



空き家をリノベーションした店舗



議会改革特別委員会・議会広報常任委員会 10月3日

議会改革特別委員会 鳥取県大山町視察研修 議員報酬改定に向けた取り組みについて

大山町には、「鳥取県西部地区特別職報酬等審議会」という組織があり、構成は各町村から1人ずつ代表の方が出て合計7人。審議会が議員報酬等をいくらにするか資料を基に首長会からの依頼を受けて審議する組織で、答申が出たら西部地区町村とも同じ金額になるが、その金額を受けか受けないかは各議会が決める。

『議員報酬改定では、議会のなかでも割れました。議会独自で決めることもできないわけではないと言う意見もあって大変でした。独自で決めると町民の意見も聞いて調べる必要もあり、すごく経過が大変で自分たちが決めても弊害があったり、町民の意見、説明も必要なので足踏状態でした。』上げる方向は決めたがその後はそれぞれの状況に合わせて審議会が開かれた。

問①鳥取県西部地区特別職報酬等審議会について、広域であるため、人口規模や財政状況など、さまざまな開きがあると思うが、1つの審議会で検討するとすると、その地域の統一した議員報酬を審議会が答申するのか。

答①上げることもできるし下げることできる。今回の報酬改革は全部改定された。人口規模がそれぞれ違うが審議会としては人口が多い少ないからではなく、「議員としてこれだけ仕事する」と言うところの判断、後は各町村がどうするか。大山町では27万円と言う話が出たのでそこをどう町民に説明するかであった。

問②町民に議員報酬をあげることに
関して、どのように問いかけをされたのか。

答②文化祭開催時にアンケートをとった。多くの方に答えをもらってそれを分析した。意外にも報酬が少ないのではという声があった。

問③少ないと答えた方がいくらくらいがよいと答えた金額はでているか。

答③25万円とか30万円が多かった。出店している方にも全員にお願いした。顔見知りの方もおり、216人が回答し、平均したら報酬は29万円くらい。

問④なり手不足で報酬もあると思うが、議員職が魅力的だと思っても
らえないと、報酬を上げるにしても町民さんに認めてもらえない
と思っている。議員の魅力が町民に
どのように伝えられているか。

答④町民のため大山のために少しでも役に立てばというのが元の意識。議会だよりが進化して議員の活動が見えるようになったことが大きい。昼夜関係なく対応し、町会議員が一番身近な存在。行事にも喜んで参加する。町民とのふれあいなので。議員という仕事をありがたくさせていただき、そのことをわかってもらえたらと思う。



大山町視察研修

議会広報常任委員会 鳥取県大山町視察研修

町民にわかりやすく 読みやすい広報誌の 作成について

議会だよりの内容が大きく変わる時、議員の間ではどのような反応だったのか。

議会だよりに、町民さんが登場しているが、どのような方をターゲットにしているのか。

テーマの決め方は。

興味を持ってもらえる工夫は。

まとめ

- より良い議会を目指すために、議会だよりの広報を強化する必要がある。
- 議会だよりは、町民とのつながりを強めるツールとして機能させる。
- 写真や見出し、短文を活用して、議会の臨場感や地元愛を伝える工夫をする。

- 町民参加型の議会だよりを作成し、町民とのコミュニケーションを促進する。
- 議会が身近に感じられる工夫を取り入れ、町民の関心を引きつける。
- 町民の視点やニーズに対応した議会だよりに改善。



令和6年度
全国町村議会
広報コンクール
優秀賞(第3位)
を受賞!

「より良い議会を目指したい、そのためには良い広報が必要」と当時の議員が言っていた。20代の議員が誕生して、その時に初めて全国の表彰を受けた。

一般質問の記事を「なぜ半分にするのか」と考え方の違いによる議論もあった。最終的にはコンセプトがしっかりあったので、議員の理解が得られた。議員みな、納得している。

テーマに沿って各担当の議員が知りに合いに依頼している。一言コメントくらいであれば、わりと気軽に応じてもらえている。

町民の方の声を聞くチャンス! 議員の活動の幅が広がり、積極的にやっている。

意見を出し合っている。テーマの希望がゼロになったことがない。この問題をどうしても取り上げたという熱意がある人が強い。最後まで責任持って記事を書き、町民さんの声を集めることができています。

表紙は大事に考えている。議会だよりは、やはり議案を賛成する、反対するにあたって議がどういうところに着目して議論をしたのか。また、争点はここだと理解してもらえよう心がけている。

議会改革特別委員会 10月24日

多賀町議会のタブレット導入に向けて

彦根市議会改革特別委員会より、タブレット導入に至るまでの経緯を伺った。

- 平成26年1月～ 議会改革特別委員会にて、タブレット導入を検討
- 平成29年3月 議会ICT化検討プロジェクトチームを設置
- 平成30年2月 平成30年度予算にタブレット導入に関する費用を計上
- 平成31年1月 操作研修会を経て、運用開始



議会広報常任委員会 11月20日

県内6町議会広報誌研修会

会場：豊郷町役場

本町の大きな変更点

- フルカラーとし、興味をひく誌面とした。
- 横書きで読みやすさを求めた。
- 右とじから左とじに変更した。
- 記事の構成で裏面「調べて! 議員さん!」の特集。

県内6町の議会広報



講評のようす



議会広報誌の総評

好感もてる誌面の取り組みがみられる。今後も「住民から読まれる広報誌」を目指していただきたい。**今後の検討点……**各ページの上に空きスペースがあるが記事内容により利用しては。



▲今号から「町政を問う(P.5~10)」でページ上部まで使用し、レイアウトに変化を持たせた

Activity 多賀町議会議員の活動報告 Report

令和6年度 滋賀県総合防災訓練に参加 10/20

大滝小学校

大滝小学校では避難所体験やAED、炊き出し訓練などを実施。一ノ瀬地区ではドローンでの物資運搬やヘリコプターでの救出訓練がおこなわれた。

訓練設定は、大雨のなか、震度7の地震が発生し、建物倒壊やライフライン被害、孤立集落が発生する状況を想定。



第74回 妙円寺詣り 10/26 10/27

鹿児島県日置市

10月26日、27日に鹿児島県日置市において第74回妙円寺詣りが、盛大に執りおこなわれた。

「妙円寺詣り」は鹿児島県の三大大行事の一つに数えられ、伊集院町の徳重神社には、関ヶ原の戦いで敵陣突破し、鹿児島にたどり着いた島津義久公が御祭神として、祀られている。この行事は「関ヶ原戦跡踏破隊」とのご縁で結んだ、日置市多賀町の兄弟都市盟約に基づき毎年参加している。

26日夕刻には鎧甲冑をまとった武者行列があり、27日には早朝から総合体育館では剣道大会、徳重神社境内では、弓道・相撲が奉納された。



町議会議員研修会に参加 11/1

竜王町防災センター

「日本政治の行方～ズバリ解説! 総選挙後の政局の焦点」

政治ジャーナリスト 細川 隆三氏



「議会のコンプライアンスとハラスメント」

一般社団法人地方公共団体政策支援機構 長内 紳悟氏

彦根・愛知・犬上 市町議会議員研修会に参加 11/7

プロシードアリーナHIKONE

町民のつどい 11/10

多賀結いの森ささゆりホール



多賀小学校 創立150周年記念式典 11/21

多賀小学校

多賀小学校創立150周年記念式典が、令和6年11月21日に小学校体育館にて執りおこなわれた。

記念式典では、久保町長、山中同窓会会長、菅森議長のあいさつに続き、寄贈品(グランドピアノ(個人寄贈)、和太鼓、ティンパニー、ミニキーボードほか7種類の楽器(同窓会寄贈))の紹介のあと校歌の合唱があり、記念公演として近江猿楽多賀座による演舞(和太鼓の演奏、淡海御神楽)、ジャズ演奏家2人(ウォーターネット)による寄贈された楽器を使った演奏と続き、となりのトトロの挿入歌など、聞きなれた歌に合わせて、子どもたちもノリノリで合唱し、最後まで楽しそうに過ごしてくれた。





もっと知りたい！調べて！議員さん！

環境にやさしい栽培指針で安心・安全な多賀町の特産物

子ども議員から日ごろの疑問で取りあげられた特産物（農産物）を見てみましょう。

多賀ふるさと米部会

環境こだわり栽培への取り組み、清らかな水流、寒暖差がある地域性を活かしたお米。

部会員数

8組織と41人

主な販売先

まちづくり応援寄付金(返礼品)、学校給食、京都生協

作付け品種と面積

コシヒカリ	3215.5a
キヌヒカリ	2797.6a
みずかがみ	2396.2a
秋の詩	1251.5a
きぬむすめ	251.5a
ミルクQueen	211.1a
きらみずぎ	198.8a
にこまる	97.7a
日本晴	80.0a
その他品種	173.2a



多賀そば部会

環境こだわり栽培への取り組み、粒ぞろいが良く黒褐色の見た目美しく香り味味の優れたそば。

部会員数

10組織と4人

作付け品種と面積

常陸秋そば 8552.0a

主な販売先

まちづくり応援寄付金(返礼品)、多賀そば地域協議会、製粉会社、小売販売



多賀にんじんクラブ

環境こだわり栽培への取り組み、部会の決まった栽培設計で甘みのあるにんじん。

部会員数

3組織と5人

作付け品種と面積

品種指定なし 218.3a

主な販売先

学校給食、県内スーパー、JA直売所



多賀ぶどうクラブ(推奨)

2組織と6人が、シャインマスカットをJA直売所、多賀町内のイベント販売で知名度をあげ、栽培者を増やし、特産化へ。



環境こだわり栽培とは？

化学合成農薬および化学肥料の使用量を慣行の5割以下に削減するとともに、濁水の流出防止など、琵琶湖をはじめとする環境への負荷を削減する技術で生産された農産物を県が「環境こだわり農産物」として認証する制度です。



議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。

座席は21席。
途中入退場も可能、
予約も不要です!!
どなたでもお気軽に
お越しください。

3月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります

3月4日(火)	9:30~ 定例会開会	町長が町政報告と議案提案をおこないます
3月5日(水)	9:30~ 一般質問	議員が町政について質問します
3月6日(木)	9:30~ 一般質問	
3月25日(火)	13:30~ 定例会閉会	初日に提案された議案を採決します



編集後記

年も明け、皆さんのお手元に、この議会だよりが届くのは2月の初旬かと思えます。今回は令和6年12月定例会の内容を中心に、三朝町への議会視察研修、多賀小学校創立150周年記念式典など取り上げさせていただきました。私を含め3人の新人議員が、広報誌の編集に携わらせていただいて、一年近くになりましたが以前の広報誌に比べ、多少手に取ってもらいやすくなったのではと思っております。さらに来年度には、構成を刷新し、より一層皆さんにお手に取っていただきやすい紙面作りを目指してまいります。皆さんのご意見を数多くお聞かせいただきますようお願いいたします。

広報常任委員 大谷 重温

「こんにちは 議会です!!」第184号

発行/多賀町議会 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀324番地
電話 0749-48-8126 FAX 0749-48-8131 有線 2-2011

編集/議会広報常任委員会 多賀町議会ホームページ/https://www.town.taga.lg.jp/



多賀町議会ホームページ

QRコードを読み取るか「多賀町議会」で検索!!

多賀町議会

検索